



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 関東電化工業株式会社  
 コード番号 4047 URL <https://www.kantodenka.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 法務・総務部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 長谷川 淳一  
 (氏名) 代蔵 政伸  
 TEL 03-4236-8801

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	57,207	27.8	9,895	23.5	10,917	36.4	7,860	40.0
2022年3月期第3四半期	44,764	19.6	8,013	122.2	8,001	129.5	5,616	183.9

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 9,198百万円 (59.9%) 2022年3月期第3四半期 5,753百万円 (78.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	136.82	—
2022年3月期第3四半期	97.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	129,239	67,268	51.1	1,149.52
2022年3月期	109,902	59,908	53.0	1,014.01

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 66,043百万円 2022年3月期 58,254百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.00	—	14.00	22.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	22.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	28.4	12,300	10.2	13,400	20.2	9,300	19.8	161.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	57,546,050 株	2022年3月期	57,546,050 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	93,137 株	2022年3月期	96,900 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	57,451,016 株	2022年3月期3Q	57,448,354 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(四半期連結損益計算書).....	6
(四半期連結包括利益計算書).....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	8
(セグメント情報).....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果により持ち直しの動きが見られたものの、原燃料価格の上昇や急速な為替変動等もあり、依然として厳しい状況にありました。海外においても、ウクライナ情勢の長期化や金融資本市場の変動等による経済の下振れリスクに留意する必要性があり、先行き不透明な状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、堅調な需要に支えられ精密化学品事業部門が大幅な増収となったため、572億07百万円と前年同期に比べ124億42百万円、27.8%の増加となりました。損益につきましては、原燃料価格は上昇したものの、主に精密化学品事業部門の増収効果により、経常利益は109億17百万円と前年同期に比べ29億15百万円、36.4%の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は78億60百万円と前年同期に比べ22億44百万円、40.0%の増加となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### ① 基礎化学品事業部門

か性ソーダおよび塩酸は、販売数量は減少したものの価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。

有機製品につきましては、トリクロールエチレンは、販売数量は減少したものの価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。パークロールエチレンは、価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業部門の売上高は、64億69百万円となり、前年同期に比べ7億81百万円、13.7%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益1億28百万円となりました（前年同期は営業損失55百万円）。

#### ② 精密化学品事業部門

半導体・液晶用特殊ガス類につきましては、三フッ化窒素は、販売数量は減少したものの価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。六フッ化タングステンおよびヘキサフルオロ-1,3-ブタジエンは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の増加と価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、精密化学品事業部門の売上高は、467億36百万円となり、前年同期に比べ115億81百万円、32.9%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益89億84百万円となり、前年同期に比べ18億95百万円、26.7%の増加となりました。

#### ③ 鉄系事業部門

複写機・プリンターの現像剤用であるキャリアーは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。鉄酸化物は、着色剤の販売減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、鉄系事業部門の売上高は、20億16百万円となり、前年同期に比べ98百万円、5.1%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益5億10百万円となり、前年同期に比べ1億07百万円、26.7%の増加となりました。

#### ④ 商事事業部門

商事事業につきましては、化学工業薬品の販売減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、商事事業部門の売上高は、5億65百万円となり、前年同期に比べ29百万円、4.9%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益1億53百万円となり、前年同期に比べ8百万円、5.6%の増加となりました。

#### ⑤ 設備事業部門

化学設備プラントおよび一般産業用プラント建設の売上高は、請負工事の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、設備事業部門の売上高は、14億19百万円となり、前年同期に比べ10百万円、0.7%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益4億70百万円となり、前年同期に比べ96百万円、26.0%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金が減少した一方、棚卸資産や有形固定資産、受取手形、売掛金及び契約資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ193億37百万円増加し、1,292億39百万円となりました。

負債は、借入金や支払手形及び買掛金が増加したことなどから119億78百万円増加し、619億71百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したことなどから73億59百万円増加し、672億68百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末の53.0%から51.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年11月11日付にて公表しました業績予想を修正しております。詳しくは、別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,728	22,891
受取手形、売掛金及び契約資産	16,921	21,428
電子記録債権	1,101	1,510
商品及び製品	5,182	6,545
仕掛品	4,416	9,337
原材料及び貯蔵品	3,526	6,186
その他	3,896	5,903
貸倒引当金	△68	△64
流動資産合計	61,705	73,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,872	9,979
機械装置及び運搬具（純額）	11,655	18,203
建設仮勘定	11,001	10,313
その他（純額）	6,692	6,766
有形固定資産合計	38,221	45,264
無形固定資産	728	730
投資その他の資産		
投資有価証券	7,464	7,254
繰延税金資産	1,165	1,289
その他	621	966
貸倒引当金	△4	△6
投資その他の資産合計	9,246	9,505
固定資産合計	48,196	55,500
資産合計	109,902	129,239

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,068	10,435
電子記録債務	835	1,724
短期借入金	4,200	4,533
1年内返済予定の長期借入金	5,886	7,029
未払法人税等	2,600	1,432
役員賞与引当金	134	75
その他	5,540	6,909
流動負債合計	27,265	32,140
固定負債		
長期借入金	20,166	27,257
役員退職慰労引当金	137	137
役員株式給付引当金	11	16
退職給付に係る負債	1,754	1,650
その他	657	768
固定負債合計	22,727	29,830
負債合計	49,993	61,971
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,877	2,877
資本剰余金	1,829	1,859
利益剰余金	50,483	56,963
自己株式	△68	△65
株主資本合計	55,122	61,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,527	2,446
為替換算調整勘定	413	1,617
退職給付に係る調整累計額	191	344
その他の包括利益累計額合計	3,132	4,408
非支配株主持分	1,654	1,225
純資産合計	59,908	67,268
負債純資産合計	109,902	129,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	44,764	57,207
売上原価	30,404	40,241
売上総利益	14,360	16,965
販売費及び一般管理費	6,346	7,069
営業利益	8,013	9,895
営業外収益		
受取利息	2	12
受取配当金	203	243
為替差益	94	618
試作品売却益	-	271
その他	212	194
営業外収益合計	513	1,340
営業外費用		
支払利息	206	232
デリバティブ評価損	88	47
試作品売却損	179	-
その他	49	39
営業外費用合計	524	319
経常利益	8,001	10,917
特別利益		
投資有価証券売却益	131	-
特別利益合計	131	-
特別損失		
固定資産除却損	29	163
投資有価証券評価損	-	17
特別損失合計	29	180
税金等調整前四半期純利益	8,103	10,736
法人税等	2,294	2,810
四半期純利益	5,808	7,926
非支配株主に帰属する四半期純利益	192	65
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,616	7,860



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	5,808	7,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△202	△133
為替換算調整勘定	149	1,251
退職給付に係る調整額	△2	153
その他の包括利益合計	△54	1,272
四半期包括利益	5,753	9,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,491	9,136
非支配株主に係る四半期包括利益	262	61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	5,688	35,154	1,917	594	1,409	44,764	—	44,764
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	1,010	2,255	3,266	△3,266	—
計	5,688	35,154	1,917	1,605	3,665	48,030	△3,266	44,764
セグメント利益又は 損失(△)	△55	7,089	402	145	373	7,955	58	8,013

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額58百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,469	46,736	2,016	565	1,419	57,207	—	57,207
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	1,075	2,782	3,858	△3,858	—
計	6,469	46,736	2,016	1,641	4,202	61,065	△3,858	57,207
セグメント利益	128	8,984	510	153	470	10,246	△350	9,895

(注) 1. セグメント利益の調整額△350百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。